

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 金田 昇
ガバナー補佐 紺野 希予司
会長 菅野 浩司
幹事 鈴木 重忠

2026-27年度
RI会長 オンライン・ハキム・ハワロ
トランス・アマディ・ロータリークラブ(ナイジェリア)

◆例会日/木曜日12:30 ◆例会場/かむろみの郷 穴原温泉 ぽのころ 吉川屋
事務局/〒960-0201 福島市飯坂町字湯町36-6 TEL.070-8322-7988 FAX(024)505-4058
e-mail:iizakarc2530@gmail.com

通算

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

第6回[3243]例会報告 令和8年(2026)8月6日(木)

出席委員会報告

会員総数	36名
出席会員	24名
欠席会員	12名
出席率	66.66%

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆国歌斉唱 ◆ロータリーソング〔奉仕の理想〕 齋藤健太 ソングリーダー

◆四つのテストの唱和 西島幸輔 職業奉仕委員

言行はこれに照らしてから
「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

♫ 今週の誕生日

♫ ♪ ♪ ♪ ♪ 8月10日 渡辺 哲也 会員
8月20日 石川 邦俊 会員 ♪ ♪ ♪ ♪

.....lunch time.....

◆会長の時間



本日も例会出席ありがとうございます。まずはじめに金田昇ガバナーより、令和8年熊本地震災害義援金の依頼が来ましたので、ご連絡させていただきます。8月末までにクラブごとに義援金をとりまとめ、地区へ送金し、第2530地区から9月中に熊本県の所属する第2720地区へ送金するようになりました。今回より義援金を募りますので、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。さて、本日は村上会員の会員スピーチががございますので、私の時間は手短にお話ししたいと思います。村上会員には、本年度、親睦委員長をお願いしております。この「親睦」についてですが、3月に行われたPELSの寒河江ロータリークラブの鈴木一作氏の講演の中で、ロータリーの「親睦」についての興味深いお話がありました。「親睦」を英訳すると、friendship 又は fellowship となるのだそうですが、ロータリーの「親睦」とは、皆で仲良くやりましょうというような「親しい者同士の交友 friendship」の方ではなく、「共同・協力という意味の強い、ロータリーの志を共にする者同士の交友(仲間意識) fellowship」が正しい意味だということを知りました。ロータリーの「親睦」とは fellowship のことなのだと、正しい「親睦」の意味を理解し、実践していかって下さいというお話でした。最後に、8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。Fellowship、皆で協力・連帯して会員増強に取り組んで、交友を深めていきましょう！一人一会員の紹介・推薦をお願いし、本日の会長の時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

ロータリーソング 四つのテスト



本日のランチ

ロータリーレート
8月 US\$1=162円

◆幹事報告 鈴木重忠 幹事

1. 月信「ロータリーの友」8月号 「2025-26年度ガバナー月信 Vol.13」最終号 「財団室NEWS」8月号

2. 来信

2-1 国際ロータリー第2530地区ガバナー 金田 昇 様より

「令和8年熊本地震に伴う支援金募集および対応について(ご案内)」

- ・地区災害特別基金よりの拠出金と地区内各クラブの義援金を加えて送金する
- ・募金活動は8月末を期限として集約し9月末をめどに送金する

2-2 第2530地区米山記念奨学会委員会 委員長 菅野秀士 様、推進委員長 今川了一 様より

「米山奨学生の卓話依頼についてのご案内」

3. メーキャップ報告

8/2 社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会合同セミナー参加

菅野浩司会長、川又康彦、齋藤健太、加藤 淳 各会員

◆スマイリングBOX 桑原正人 委員【合計47s】

菅野 浩司 会員 5s 村上会員の会員スピーチとても楽しみにしております。本日はよろしくお願いいたします。
村上 裕司 会員 5s 本日スピーチさせていただきます。失言も本日はおゆるください。
油井 明則 会員 5s 村上裕司会員本日のスピーチよろしく願います。
生田 正志 会員 5s 村上様の神スピーチ楽しみです。
佐藤 喜市郎 会員 5s 村上会員のスピーチよろしくお願いします。
鈴木 悟 会員 5s 村上会員のスピーチ楽しみにしております。
渡辺 達也 会員 5s 村上裕司会員のスピーチ楽しみにしています。
石川 邦俊 会員 3s 村上会員のスピーチたのしみにしています。
西條 博之 会員 3s 村上会員のスピーチたのしみにしています。
加藤 淳 会員 2s 村上会員のスピーチ楽しみにしています。
佐藤 真也 会員 2s 村上会員のスピーチ楽しみにしています。
渡辺 哲也 会員 1s 村上会員スピーチ楽しみにしています。
齋藤 健太 会員 1s 村上さんのスピーチたのしみにしています。



スマイリング報告

◆会員スピーチ

『感謝』 ～前人未踏の16連覇を達成！～ 村上裕司 会員



大変素晴らしいポスターを作ってください、おかげさまでJ A 共済16年連続で賞をいただきました。私がロータリーに入会した時がちょうど14年前ですので、その時はまだ2連覇の時です。そこから14年間連続で賞をいただき、16連覇となりました。本当にありがとうございます。私は昭和45年12月8日生まれですが、私もいろんな時代を歩んできたと思っております。まず、私が印象に残っているのは二十代の頃です。平成3年くらいはポケットベルがあった時代で、私は若い頃から行動的で友達も多く、その中で、友達との連絡手段にポケットベルを購入し、持って遊んでいたという記憶があります。そこから社会人になって、今度はお客様からの連絡手段として、まだ携帯電話が出始めの頃で、ショルダーホンという肩にかけて持つ大きい携帯電話を購入し、それを持ってサラリーマン時代がスタートしました。今はレッカー業という仕事をしておりますが、やはり、いつでも何があったら電話くださいとお願いしておりますので、長年同じことを言っているなと思います。

私が未だに克服できないのは実はお肉なのですが、前にも言いましたが、佐藤真也さんに紹介していただき入会し、最初は「楽な気持ちで昼飯でも食いに来たら」と言われて、私も1回くらいはお付き合いで行ってみようかなと思って来てみたのですが、その時に出てきたのがカツ丼だったのですね。今であれば、私は食べられませんと断りますが、そもそも私の向かいに座っていたのが篠木さんという方で、篠木さんに「どうぞ召し上がりください」と言われたものですから、残すわけにもいかずに我慢して飲み込みました。このカツ丼を食べたことは本当に苦痛なことでした。ロータリーに入会して、当初は言葉に詰まってしまう、いろいろな先輩方に助けていただきました。それこそ、篠木さんや喜市郎さん、吾妻さん、諸先輩方に随分私も甘えていたなと思います。私も今はパスト会長になっておりますが、副幹事のお話をいただいた時に、このまま行くと私も階段を登ってしまう、それは避けなければならないと、お断りしておりました。吾妻会長年度の幹事になる段階で、勉強だと思って何とか頑張ろうと思ったのですが、不慣れなことも多く、先ほどお話しした先輩方にご協力をいただきました。本当に吾妻会長はすごい会長でした。所信表明での会長挨拶の時に「海外旅行に行きます」とおっしゃられて、綿密に予定を立て、無事にバリ島まで行くことができました。その時には25名の方にお世話になり、大人数での旅行を実行できたというのが、一番良かったなと思っております。

今日の私の話の題名は「感謝」ということなのですが、まずはお話をいただいた佐藤真也さんから入会する機会をいただき、その後、吾妻一夫さんにはいろんな気遣いや、いろんな段取り、人の集め方、たくさんのことを教えていただきました。そして、なんとか無事に幹事を終えたのですが、そうすると階段が自動的に登っていくシステムになっていたのですね。そういう流れで、今度は会長という時になりました。一緒に活動する幹事は、一生の付き合いができて、年がら年中一緒にいる、いろんなことを相談できる、サポートしてくれる人ではないとだめだと思って、私は生田目さんに決めて、2年間ぐらいはお願いしたと思いますが、ずっと断られておりました。そこで、奥さんと息子さんにご協力いただきまして、これが功を奏して、最終的には生田目さんにお引き受けいただきました。本当に生田目さんは名幹事だったですね。歳は5歳違うのですが、どちらが先輩か後輩かわからないような厳しさもありました。一年間、生田目幹事がサポートしてくださり、私も何とか会長年度を無事に終えました。

そういうわけで、私はロータリーに入ってからかなり人生が変わったなと思います。会長も終わったので、あとは何もないだろうと思っていたのですが、ここにきて佐藤喜市郎さんからの誘いがありました。本当に2年くらいはお断りしておりましたが、佐藤喜市郎さんは福島県の保護司の重鎮で、私を保護司に推薦したいというお話をいただいたのですが、胸に手を当てて考えても、そんなに堂々とした人生を歩んできた人間ではありませんので、ずっとお断りしておりました。しかし、私も生田目さんと一緒に、結局は私も根負けしてお引き受けしました。保護司をお引き受けすると、前回の菅野会長のお話ではありませんが、行動が変わるのですね。スピード違反はダメだとか、気が引き締まるとだんだん私も性格が変わってきたのかなと思うくらい、やはり環境でだいぶ変わってきたなと思っております。私は保護司という職を、喜市郎さんが勇退する時に一緒に全うしたいと思っておりますが、その時にお断りできるかどうか…。とにかく、喜市郎さんは軽く言いますが、その言葉は重いのです。

今、有限会社の場合は菅野会長と企業年数が一緒なのです。平成14年開業です。私は前の年まではサラリーマンでした。ちょうど平成13年9月は、ニューヨークの世界貿易センターなどで、同時多発テロ事件が起きた年なのです。私はサラリーマン生活10年間勤め終わったので、その後の10年間はアメリカに行こうと思っておりました。なんでアメリカがいいのかというと、まず、私を助けてくれる人が基本的にいない、言葉も通じない、あとは肉がもしかしたら食べられるようになるかもしれないという、かすかな期待を胸に、自分で一から真剣に勉強できるのではないかと思います。10年間アメリカに行こうと思っておりました。ですので、会社の辞表も平成13年9月で出しました。しかし、9月に同時多発テロ事件があって、アメリカに飛行機が飛ばなくなってしまったのですね。それで私は、これも運命なのかなと思って、アメリカに行くのをやめて、日本で今までやったことがない仕事をしようと思ったのが「保険」と「車」なのです。私は元々食品業出身ですから、保険の知識もありませんし、レッカーの知識もありません。いうなれば独学で学びました。今みたいにYouTubeもありませんでしたので、他の事故の現場にこっそり見に行つて、こんなふうに作業するのだと自分なりに見学して、そこから24年経つて、私も年齢は55歳になりましたが、今、息子2人が会社に入って、レッカー作業も含めてやっているものですから、私の出番はほとんどなくなりました。最近はクレームが来たら私の仕事みたいで、こういうことを継続して、このロータリーにも1日でも長くいられるように、これからも仕事を頑張つてまいります。それでは時間となりましたのでこれで終わります。本日はありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長